

(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTEL 27-3177)



企業連携
航空会社 Peach と連携し
ふるさと納税で小林市をPR



昨年には宮崎ー関西国際空港間の便が就航。機内誌では小林市のことも紹介されています

市では、市内外の企業と連携した事業をすすめています。ふるさと納税制度では、航空会社の Peach (Peach Aviation 株式会社) と連携。相互PRのほか、寄附の返礼品として、Peach の航空券購入などに使えるピーチポイントと小林市の特産品がもらえるコースも準備しています。このコースを利用すれば、実質航空賃2千円で里帰りや小林へ旅行をすることができます。



きずな協働体
須木の未来のため意見交換
「新春語ろう会」を開催

すきむらづくり協議会主催の「新春語ろう会」が、1月17日、すき商工会で開催されました。それぞれ事業を行っている3つの専門部会の横のネットワークを築くことが目的。協議会の会員ら約39人が参加し、食事をしながら交流を深めました。同会の金松勲会長は「今回の交流会で、会員の連携をさらに深め、これからはよりよい地域づくりを進めていきたい」と話していました。



会は立食形式で行われ、会員同士の交流を深めながら須木の未来について意見を出し合いました

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、細野地区

無病息災などを願い「細野どんと焼き」開催

細野地区の正月の風物詩として定着した「細野どんと焼き」。今回から細野まちづくり協議会が主体となり、1月10日に開催しました。前日、民生委員やボランティア会、細野青年団などが準備。どんと焼きで欠かせない「もち」は、細野小の5年生が授業の一

環で栽培したもち米を使いました。当日、過去最高の500人が来場し、地域住民が丹精込めて作った温かい食べ物や飲み物が振舞われ、会場は笑顔で包まれました。次は、最大の観光イベントである「まきばの桜まつり2016」(3月26日、27日に開催)の準備に取り掛かります。



まきばの桜まつり実行委員会では、昨年以上に盛り上がるようさまざまな企画を準備しています。楽しみにしてください。

細野まちづくり協議会
地域づくり部会
前田隆博 部会長

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



医療・介護
安心してらせるまちに
医療と介護が連携・推進

誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを送ることのできるまちづくりを目指す「西諸地域在宅医療介護連携推進協議会」が1月12日、西諸医師会を事務局に発足しました。複数の市町村からなる二次医療圏単位の同協議会は県内初となります。第1回目の会議は小林保健所で行われ、圏内の医療、介護や行政の関係者ら約30人が出席。会の目的、体制やスケジュールなどについて決定、共有しました。



今後、同協議会では、3つの専門部会を設置し在宅医療・介護の連携・推進を検討していきます



地域交流
看護学生と老人クラブが
クリスマス会で交流深める



プレゼント交換では、手作りのクリスマスカードやキーホルダーを交換しました

小林看護医療専門学校と市老人クラブ連合会が、12月25日、クリスマス会を百歳会館で行いました。同校生徒40人と同会会員20人が参加。歌やひょうこなどの出し物やジェスチャーゲーム、小林音頭、プレゼント交換などで交流を深めました。同会の福嶋昭会長は、「昭和の初めと平成の初めに生まれた者同士の世代を越えた交流会となった。今後もこのような輪を広げていきたい」と話していました。

あなたも世界記録の一員に。

挑戦者求ム

●参加無料●挑戦者に記念品&振る舞い●挑戦者対象大抽選会



新市誕生10周年を祝い、ギネス世界記録に挑戦します。挑戦する記録は「一つの椅子に連なって座った最多数(現在記録1831人)」。申し込み、問い合わせは企画政策課(TEL 23-0456)まで。

小林市新市誕生記念イベント

ギネス世界記録に挑戦

3.19(土) 10時～(受付9時～)
場所：小林総合運動公園
市営陸上競技場内